

テーマ別研究発表 | 学校保健体育研究部会：【課題B】体育・スポーツ・健康科学は、学校保健体育の進展にいかに関与できるか

📅 2025年8月28日(木) 13:30 ~ 14:30 📍 2203教室(教育研究棟 2街区 2階 2203)

[2a903-05] 学校保健体育研究部会【課題B】口頭発表⑥

座長:山田 考禎(福井大学)

13:30 ~ 13:50

[学校保健体育-B-17]

保健体育授業における「原則、男女共習」を考える（測）

共習授業と別習授業を体験した大学生の意見および感想

*松田 繁樹¹、山田 淳子²、出村 友寛³、三谷 林太郎⁴ (1. 龍谷大学、2. 滋賀大学、3. 仁愛大学、4. 滋賀大学大学院)

13:50 ~ 14:10

[学校保健体育-B-18]

中学校体育授業のバレーボールにおける男女共習と別習の違いが生徒の学びに与える影響（発，教）

*山田 淳子¹、松田 繁樹²、出村 友寛³、三谷 林太郎⁴ (1. 滋賀大学、2. 龍谷大学、3. 仁愛大学、4. 滋賀大学大学院)

14:10 ~ 14:30

[学校保健体育-B-19]

演題取り下げ

テーマ別研究発表 | 学校保健体育研究部会：【課題B】体育・スポーツ・健康科学は、学校保健体育の進展にいかに関与できるか

2025年8月28日(木) 13:30 ~ 14:30 2203教室(教育研究棟 2街区 2階 2203)

[2a903-05] 学校保健体育研究部会【課題B】口頭発表⑥

座長:山田 考禎(福井大学)

13:30 ~ 13:50

[学校保健体育-B-17] 保健体育授業における「原則、男女共習」を考える (測)
共習授業と別習授業を体験した大学生の意見および感想

*松田 繁樹¹、山田 淳子²、出村 友寛³、三谷 林太郎⁴ (1. 龍谷大学、2. 滋賀大学、3. 仁愛大学、4. 滋賀大学大学院)

本研究では、大学生を対象とし、ソフトボールおよびサッカーの授業において、男女共習と男女別習の授業を実施し、学生の授業後の意見および感想について共習と別習で比較することを目的とした。対象者はS県内の大学の教育学部に在籍する1年生であった。ソフトボール授業では53名、サッカー授業では55名が分析対象であった。ソフトボールおよびサッカーの授業を共習と別習で行い、その後にアンケート調査を行った。アンケート調査内容は、「授業の満足度」、「授業の楽しさ」、「授業における仲間と交流」、「授業における全力での運動」、「技術向上にはどちらがよいか」、「安全に行うにはどちらがよいか」、「希望するのはどちらか」、「小学校の授業ではどちらがよいか」、「中学校の授業ではどちらがよいか」、「高等学校の授業ではどちらがよいか」の10項目であった。5件法（男女別習、どちらかというとな男女別習、どちらともいえない（同程度）、どちらかというとな男女共習、男女共習）で回答してもらった。対象者数が少なかったため、回答カテゴリーを3つに統合し、分析を行った。適合度の検定および多重比較検定を行った。ソフトボールの授業では、「授業の満足度」、「希望するのはどちらか」以外の8項目に有意差が認められた。男女別に分析した結果、有意差の現れる項目が男女で異なっていた。サッカーの授業では、「授業の楽しさ」および「授業における仲間との交流」以外の8項目に有意差が認められた。男女別に分析した結果、有意差の現れる項目が男女で異なっていた。結論として、男女共習および男女別習に対する大学生の意見および感想は種目および性の違いにより異なることが示唆された。

テーマ別研究発表 | 学校保健体育研究部会：【課題B】体育・スポーツ・健康科学は、学校保健体育の進展にいかに関与できるか

2025年8月28日(木) 13:30 ~ 14:30 2203教室(教育研究棟 2街区 2階 2203)

[2a903-05] 学校保健体育研究部会【課題B】口頭発表⑥

座長:山田 考禎(福井大学)

13:50 ~ 14:10

[学校保健体育-B-18] 中学校体育授業のバレーボールにおける男女共習と別習の違いが生徒の学びに与える影響（発,教）

*山田 淳子¹、松田 繁樹²、出村 友寛³、三谷 林太郎⁴ (1. 滋賀大学、2. 龍谷大学、3. 仁愛大学、4. 滋賀大学大学院)

本研究では、中学生を対象に男女共習（授業全体を通して男女混合）と男女別習（授業のはじめとまとめのみ男女混合で行いその他は男女別）の体育授業を実施し、共習と別習の違いが生徒の学びに関する意識、技能、および授業中の活動量に与える影響を明らかにすることを目的とした。対象者はS県の国立中学校に在籍する2年生70名（共習群35名、別習群35名）であった。対象授業はバレーボールの全9時間であった。調査内容は、体育授業に関するアンケート、学びの成果を問う事後アンケート、形成的授業評価、授業中の運動強度（Mets）、バレーボールの基礎技能（直上アンダー、直上オーバー）であった。体育授業に関するアンケート、形成的授業評価、運動強度、および基礎技能については一要因にのみ対応のある二要因分散分析を行った。事後アンケートは対応のないt検定を行った。結果、体育授業に関するアンケートでは「バレーボールの授業が好きか」において交互作用が認められ、女子の別習群において事後が事前より有意に高値を示した。事後アンケートでは「楽しむことができたか」「授業を行って互いに協力し、励まし合うことができたか」において女子は別習群が共習群より有意に高値を示した。形成的授業評価では「楽しかったですか」「もっとやってみたいと思いますか」において女子は別習群が共習群より有意に高値を示した。運動強度では、女子において8時間目および9時間目に別習群が共習群より有意に高値を示した。基礎技能では女子において直上アンダーの「膝の曲げ伸ばし」および「身体全体の動き」で交互作用が認められ、別習群において事後が事前より有意に高値を示し、事後において別習群が共習群より有意に高値を示した。中学生のバレーボール授業において男女別習の授業は部分的ではあるものの、特に女子における学習意欲の向上、運動強度の増加および技能の向上につながることを示唆された。